

令和8年度
要覧

ぼんじゅ



夏のチャレンジキャンプ



青森県立梵珠少年自然の家
Bonju Outdoor Education Center for Children

梵珠少年自然の家とは



所旗



マスコット
キャラクター
梵珠太郎

↑ 梵珠少年自然の家 上空より
← 梵珠少年自然の家 全景

青森県立梵珠少年自然の家は、こどもたちが自然環境のもとで共同生活をする機会を提供することによって、自然に親しみ、心身ともに健全な育成を図ることを目的に、青森県が昭和46年に設置した社会教育施設です。

開所から50年以上の歴史を重ね、今も多くの学校の宿泊体験学習や社会教育関係団体等の活動に利用されており、常にこども達の笑顔があふれています。



体育館



宿泊室



浴室



食堂

あゆみ

昭和45年 4月 7日	「青森県少年自然の家」を現在地に設置することが決定	平成20年12月	体育館耐震補強工事
		平成21年 1月	暖房配管改修工事
昭和46年 8月 1日	青森県少年自然の家開所	10月23日	利用者数100万人を達成
8月 6日	開所式挙行	11月	暖房用ボイラー改修工事
8月10日	所旗・所章制定	平成30年 1月	キャンプセンター炊事用具、小屋更新
9月10日	落成式挙行	令和 3年 1月	研修室1・2空調設備設置
昭和50年12月 1日	種差少年自然の家設置に伴い「青森県少年自然の家」を「青森県立梵珠少年自然の家」に名称変更	7月	自動水栓工事
		9月	創立50周年記念誌「ぼんじゅ」刊行
昭和61年 8月28日	利用者50万人を達成	令和 4年 3月	宿泊室空調設備設置
平成 9年12月	耐震改修工事（本館・食堂）	令和 6年 7月	所長室・事務室等空調設備設置
平成11年 1月	キャンプセンター完成	令和 7年 3月	大雪によりキャンプセンターの柱が傾くなど被害が発生（7年度中に修理）
平成13年 8月30日	創立30周年記念誌「ぼんじゅ」刊行	7月	館内にWi-Fi環境整備
平成19年 1月	厨房改修工事		

運営の方針と重点

1 方針

少年たちが、恵まれた自然の中で多様な体験活動を行うことにより、豊かな感性、社会性、創造性等を培い、自ら学び、考え、行動し、生きる力を育むことができるよう諸条件を整備し、魅力ある活動の場や機会の提供に努めます。

2 重点

(1) 利用の促進

- ア 主催事業の充実
 - ・魅力ある活動プログラムの提供
 - ・ボランティアの養成と活用
- イ 受入事業の促進
 - ・宿泊学習をはじめとする学校利用への適切な対応
 - ・多様な利用形態への対応
 - ・幼稚園、保育園、認定こども園及び社会教育団体等の利用促進

(2) 支援体制の充実

- ア 自然体験活動支援の充実
- イ 指導者研修の充実
- ウ ホームページ等による情報提供の充実

(3) 活動プログラムの充実

- ア 発達段階に対応した活動プログラムの開発
- イ 自然環境を活用した活動プログラムの開発
- ウ 郷土の素材を活用した活動プログラムの開発

(4) 安全管理の徹底

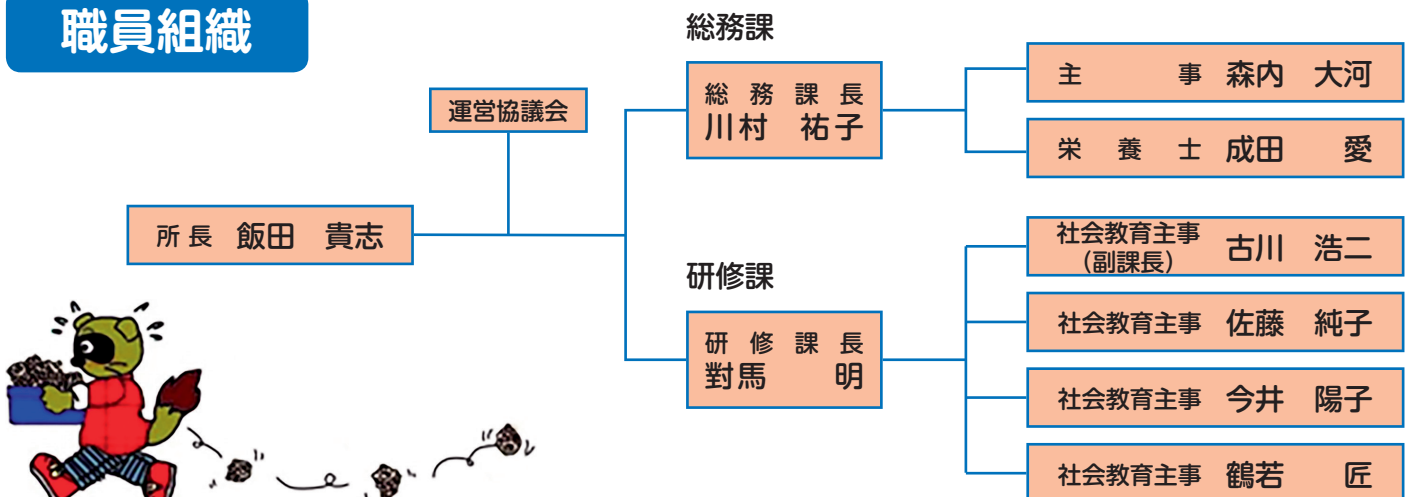
- ア 定期的な施設設備・活動エリアの安全点検の実施
- イ 緊急時における適切な対応の徹底
- ウ 給食における衛生管理の徹底

(5) 施設設備の充実

- ア 施設設備の保守と計画的な整備
- イ 活動エリアの保守と整備



職員組織

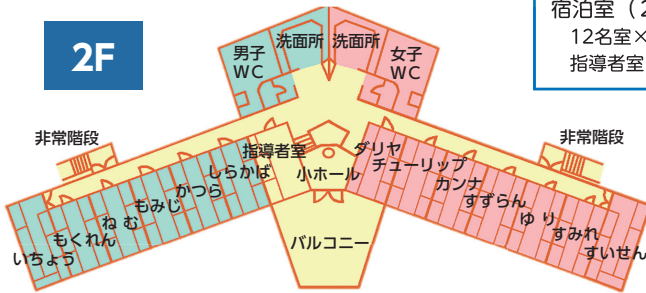


館内案内図及び活動エリア

●自然の家館内



2F



宿泊室 (2階)
12名室×11部屋、14部屋×2部屋
指導者室×1部屋 計160名

1F

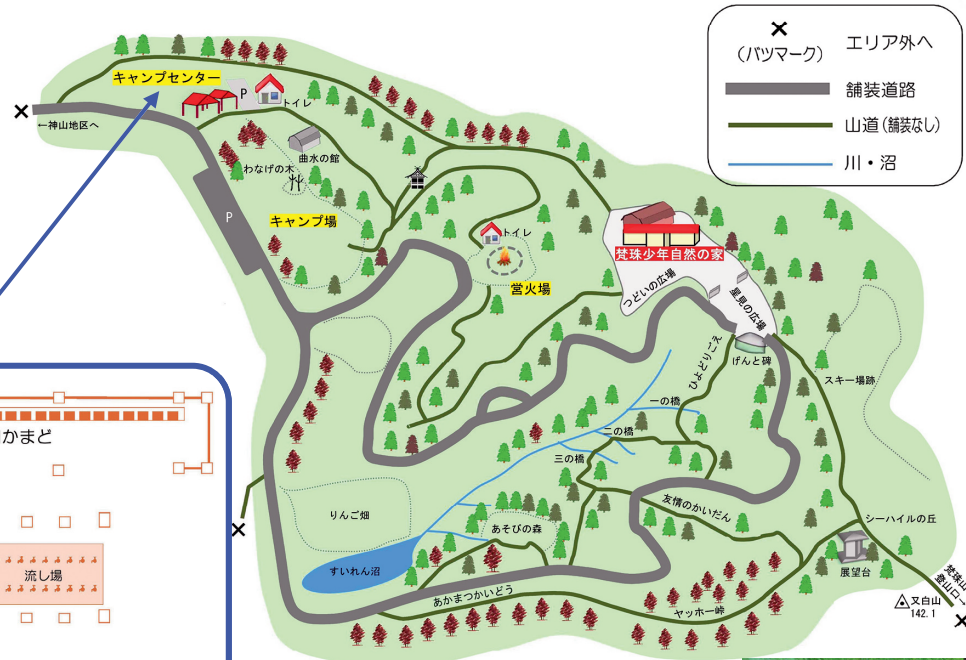


体育館 (兼大研修室)
卓球 (4台)、バドミントン (2面)、
バレーボール (1面)、
バスケットボール (1面)

身障者宿泊室 (1階)	3名
研修室 1 (1階)	60名
研修室 2 (1階)	60名
和室 (1階)	
浴室 (男子・女子) 各10名	
食堂 (1階)	160名

●活動エリア

(面積：約18万㎡)



× エリア外へ
(バツマーク)
—— 舗装道路
—— 山道 (舗装なし)
—— 川・沼



●キャンプセンター
かまど 24個 蛇口 18個
テーブル 12台 小テーブル 6台
冷蔵庫 2台
長いす (4人用) 24台
短いす (2人用) 14台
計124人分



利用案内（受入事業）

1 利用できる団体

当施設を利用できるのは、**学校関係**（小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、大学等）、**幼児教育施設関係**（幼稚園、保育所、認定こども園等）及び**その他少年教育関係**（子ども会、ボーイ・ガールスカウト、スポーツクラブ、PTA、公民館、放課後子供教室、放課後児童クラブ、社会福祉協議会、JRC等）の団体です。

※利用団体は、原則として当施設の自然体験活動プログラムを1つ以上行うこととしています。

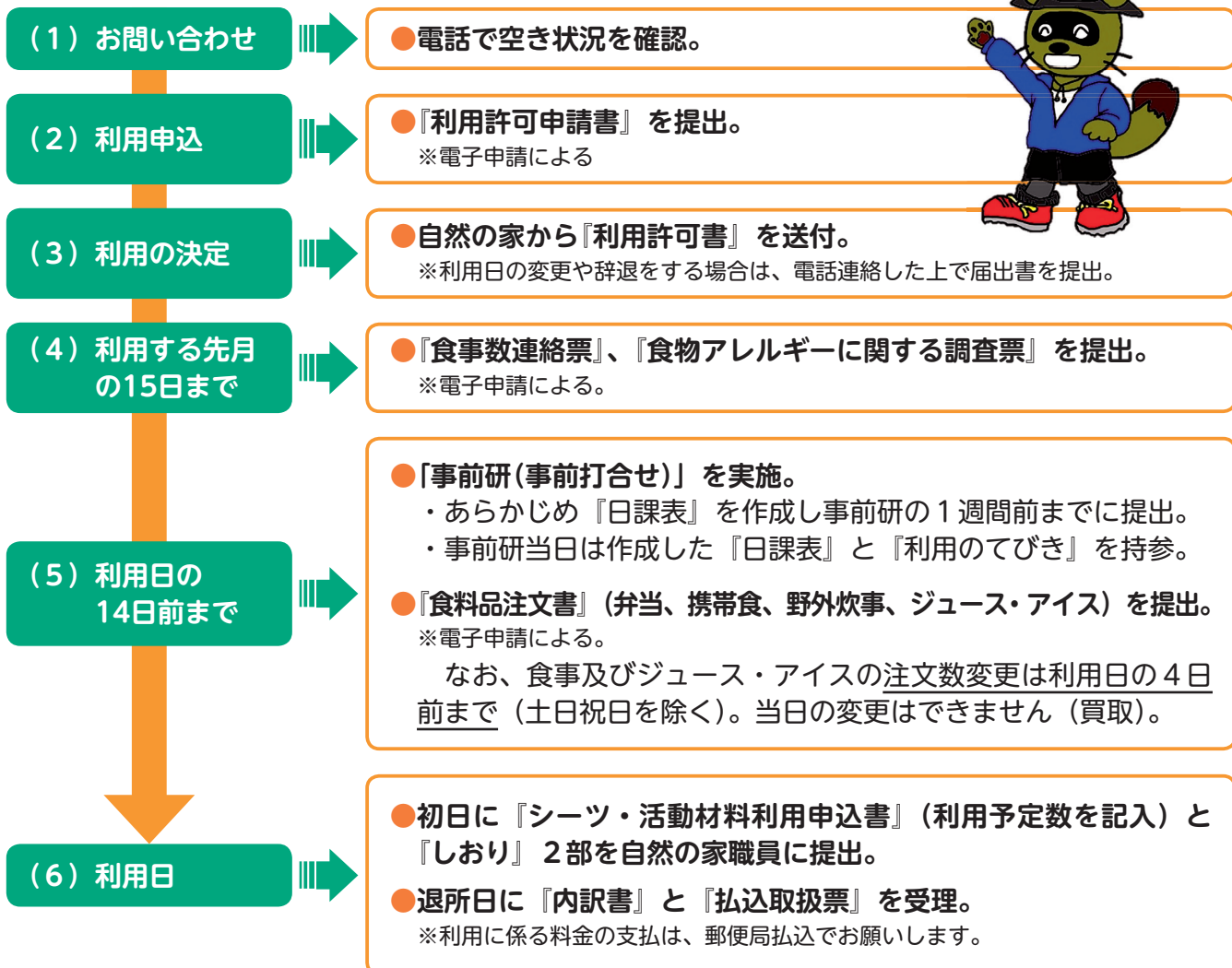
当施設は、**宿泊のみの目的**（例：ねぶた祭などの観光やスポーツ大会のための宿泊など）や、**営利目的、特定の宗教又は政党のための活動を目的とした利用はできません。**

2 休所日 年末・年始（12月29日～1月4日）

3 経費 宿泊料と施設利用料は無料です。食費・洗濯代・活動材料費等は実費負担となります。

食費	朝食	昼食	夕食	洗濯代	館内泊 (シーツ・枕カバー)	テント泊 (シュラフ用シーツ)
	480円	500円	600円		280円	170円

4 利用手続の流れ



翌年度の利用については、10月から調整を行います。詳細についてはお問い合わせください。

活動プログラム

野外活動プログラム

当施設周辺の豊かな自然環境を利用した活動です。

- ・アドベンチャービンゴ
- ・イニシアティブゲーム
- ・QRゲーム
- ・自然ふれあいハイク
- ・梵珠モルック
- ・梵珠ディスクゴルフ
- ・もりのぼうけんあそび
- ・ぐるぐる火起こし
- ・キャンプファイヤー
- ・梵ファイヤー
- ・暗闇ビンゴ
- ・テント泊
- ・野外炊事（カレー、豚汁、ピザ、ホットサンド、流しそうめん、棒パンづくり）

ほか



アドベンチャービンゴ



野外炊事

冬季プログラム

冬の野外活動です。冬の自然に親しみ楽しみながら体を動かすことができます。

- ・スノーシューハイキング
- ・チューブそり遊び
- ・スノーランド遊び
- ・雪上運動会
- ・雪灯籠づくり
- ・雪のようせいづくり
- ・ぶんぶんアイス



スノーシューハイキング



雪上運動会

屋内活動

施設内活動としてはもちろん、荒天時の代替プログラムとしてもご活用ください。

- ・ぼんチャレンジピック
- ・梵珠チャレンジ・ザ・ゲーム
- ・キャンドルサービス
- ・ぼんじゅ室内ペタンク
- ・室内イニシアティブゲーム



ぼんチャレンジピック



梵珠チャレンジ・ザ・ゲーム



キャンドルサービス

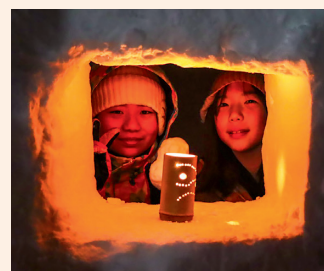
創作活動

主に自然物を利用した工作です。
(活動に当たって材料費が負担となります。)

- ・焼板工作
- ・森のストラップ
- ・えんぴつストラップ
- ・竹のしおり
- ・ぼんじゅ竹灯籠
- ・森からのプレゼント
- ・金山焼
- ・動物マグネット
- ・プラバンストラップ
- ・梵珠チャカポコけん玉
- ・ブンブンごま
- ・梵珠ブーメラン
- ・ぼんじゅ独楽
- ・ぼんじゅひらひら凧
- ・まつぼっくりけんだま
- ・バードコール



焼板工作



ぼんじゅ竹灯籠

主催事業

看板事業

施設の魅力を生かし、教育効果が高い企画を盛り込んだ事業を発達段階に応じて提供し、その成果を広く普及啓発していくことを目指した梵珠少年自然の家の目玉事業です。

- 9歳アドベンチャーキャンプ
① (7月)、② (10月)
- 夏のチャレンジキャンプ (8月)
- 冬の3daysキャンプ (1月)
- 7歳わんぱくキャンプ (2月)



夏のチャレンジキャンプ



冬の3daysキャンプ

親子事業

施設周辺の恵まれた自然環境を生かした多様な体験活動を通して、親子や仲間との触れ合いを深めながら、自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度を育てる事業です。

- 春を楽しむサンday (4月)
- ファミリースプリングキャンプ (5月)
- 秋を楽しむワクワクday (11月)
- 冬をいろどるクラフトday (12月)
- 冬を楽しむホワイトday (1月)



春を楽しむサンday



秋を楽しむワクワクday
(旧自然体験ぼんじゅフェスタ)

学習・生活習慣支援事業

定期的に梵珠の自然に触れる活動や、規則正しい学習生活習慣を意識づける活動を体験することを通じ、学校・家庭生活などに自ら役立てようとする基礎的な心情を育む事業です。

- ぼんじゅネイチャークラブ
① (7月)、② (8月)、③ (11月)
- ぼんじゅウィンタースクール (12月)



ぼんじゅネイチャークラブ



ぼんじゅウィンタースクール

養成事業

利用団体の引率者、高校生、大学生等の関係者を対象に、基礎的な技能の伝達や様々なプログラムを体験できる研修機会を提供し、体験活動の指導者及びボランティアを養成します。また、こども達が効果的に参加できる活動機会を提供するための出前講座を行います。

- 施設利用団体事前研修 (4月)
- ボランティア養成
 - ・ 入門セミナー (5月)
 - ・ ふりかえりセミナー (3月)
- ぼんじゅ出前講座 (間接：通年、直接10～3月)



施設利用団体事前研修



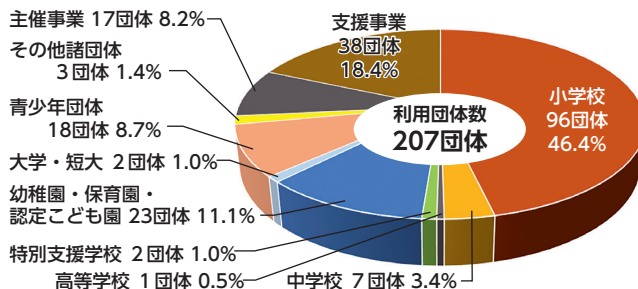
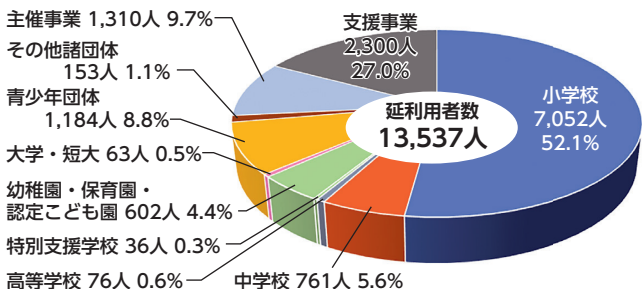
ボランティア入門講座

令和7年度利用状況

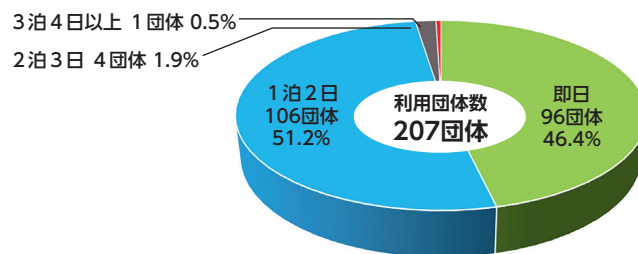
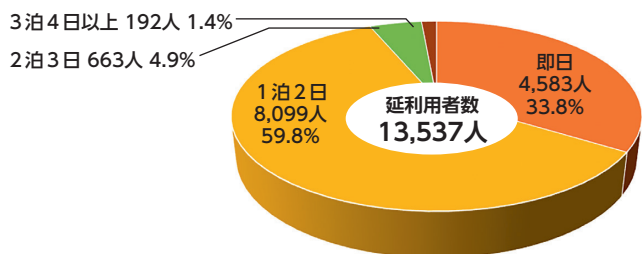
月別利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月別延利用者数	485	948	3,052	2,121	650	1,812	1,103	1,063	268	734	1,228	73	13,537
月別利用団体数	8	12	38	34	9	28	22	16	7	12	18	3	207

対象別利用状況



日数別利用状況



案内図

※青森市浪岡の「青森県立自然ふれあいセンター」とお間違いのないようご注意ください。



主な交通手段

自動車：国道7号線大釈迦西交差点から約15分
津軽自動車道五所川原ICまたは五所川原東ICから約10分
タクシー：JR五能線五所川原駅から約20分

青森県立梵珠少年自然の家

〒037-0611 五所川原市大字神山字殊ノ峰117-602

TEL 0173-29-3303

ホームページ

梵珠少年自然の家

FAX 0173-29-3306

Facebook

青森県立梵珠少年自然の家

e-mail E-BONJU@pref.aomori.lg.jp

この印刷物は900部作成し、印刷経費は1部当たり135円です。(印刷所 青森コロニー印刷)



梵珠少年自然の家
マスコットキャラクター
「梵珠太郎」